

## 第1学年 音楽I 学習指導案

日 時 令和2年10月6日(火曜日) 4時間目  
場 所 鹿児島県立古仁屋高等学校 音楽室  
対象学級 普通科1年1組  
(男子7名 女子6名 計13名)  
授 業 者 下園 俊郎

### 1 題材 ヴァイオリン演奏にチャレンジ

### 2 教材 『ヴァイオリン入門』

ワークシート

『ヴァイオリン協奏曲第5番 イ長調 K. 219《トルコ風》から第3楽章』

(MOUSA 1 p140)

### 3 題材設定の理由

#### (1) 生徒の実態について

これまで、音楽Iの授業では「リズムアンサンブル」や「ギターのコード奏」を行い、リズムアンサンブルや器楽演奏への理解や音楽表現に対する興味関心を高めてきた。対象クラスの1年1組は、楽譜を読むことが出来る生徒は3名ほどで、基本的な音楽の知識が身につけていない生徒が多い。器楽演奏に対する興味関心は高く、自ら積極的に取り組む生徒も見られる。

#### (2) 題材設定について

これまでにヴァイオリンに触れたことがある生徒は1名で、全ての生徒がヴァイオリンについての知識はほとんどない。また、ヴァイオリンが使用されるオーケストラ演奏等もほとんど耳にしたことがない生徒が多い。

本題材では、ヴァイオリンを扱うことで、ヴァイオリン属の楽器の仕組みを理解し、弦の音の響きや重なりを味わえることができるように授業を展開していきたい。また、生徒の意欲を高めるような教材を厳選し、ヴァイオリン演奏の楽しさや達成感を味わうことによって、ヴァイオリンを身近な楽器として感じさせるように支援していきたい。

#### (3) 教材について

本題材を通して主教材となる楽曲については、特に生徒に馴染みのある楽曲を選び、ヴァイオリンを学習した際の抵抗感を乗り越えさせようと考えた。また、演奏がしやすい楽曲を選び、達成感や興味関心を高めようと考えた。これらのことから、「童謡」を選曲した。

#### 4 題材の目標

- (1) ヴァイオリンについての知識や基本的な奏法を身につけ、演奏することができる。  
(知識及び技能)
- (2) ヴァイオリンの音色や響きを感じ取り、楽曲にふさわしい表現の工夫をすることができる。  
(思考力, 判断力, 表現力等)
- (3) ヴァイオリンの音色や奏法に関心を持ち、意欲的に表現活動に取り組むことができる。  
(学びに向かう力, 人間性等)

#### 5 指導計画

時 間	学習活動
1	(1) ヴァイオリンの各部の名称を確認する。 (2) ヴァイオリンの持ち方, 構え方について確認する。 (3) 弓の持ち方について確認する。
2～4	(1) 弓とリズムを練習する。 (2) 『キラキラ星』を練習する。
5～7	(1) 『ちょうちょう』を練習する。 (2) 『夕焼け小焼け』を練習する (『ちょうちょう』まで出来た生徒のみ)。
8 (本時)	(1) より良いヴァイオリンの持ち方, 構え方を考える。 (2) より良い弓の持ち方を確認する。 (3) 『キラキラ星』『ちょうちょう』を合奏する。

#### 6 評価の観点

知識及び技能	思考力, 判断力, 表現力等	学びに向かう力, 人間性等
ヴァイオリンについての知識や基本的な奏法を身につけ、演奏することができる。	ヴァイオリンの音色や響きを感じ取り、楽曲にふさわしい表現の工夫をすることができる。	ヴァイオリンの音色や奏法に関心を持ち、意欲的に表現活動に取り組むことができる。

## 7 本時の実際

### (1) 本時の目標

- より良いヴァイオリンの音色や奏法を考え、工夫してヴァイオリンを演奏することができる。

### (2) 本時の展開

課程	学習活動	形態	指導上の留意点等	評価
導入 (5)	1 本時の目標について知る。 「より良いヴァイオリンの音色や奏法を考え、工夫してヴァイオリンを演奏することができる。」	一斉	・板書で本時の目標や活動内容を確認する。 ・前時を振り返り、学習内容を整理させる。 ・楽器を大切に扱うように指導する。	・前時を振り返り、正しい持ち方、構え方が出来ているか。 【知識及び技能】
展開 (40)	2 全体でボーイングの練習をする。 3 『キラキラ星』の全体合奏を行う。 4 『ちょうちょう』の全体合奏を行う。 5 ヴァイオリンのより良い持ち方や構え方、弓の持ち方について考える。 6 5で考えたことを踏まえて、演奏方法を工夫し、『キラキラ星』『ちょうちょう』を練習する。 7 『キラキラ星』、『ちょうちょう』の全体合奏を行う。	一斉 一斉 一斉 一斉 個人 グループ 一斉	・持ち方や構え方について、個別に指導する。 ・フィンガリングについて個別に指導する。 ・理解しやすいように、初めに「階名唱」を行う。 ・ワークシートを配布する。 ・ヴァイオリニストの映像を鑑賞させる。 ・一人一人の生徒の状況に合わせて、アドバイスを する。 ・それぞれの工夫する点を確認させる。	・正しいフィンガリングが出来ているか。 【知識及び技能】  ・楽曲にふさわしい表現の工夫を考 えることができる。 【思考力】 ・楽曲にふさわしい表現を工夫 することが出来る。 【表現力】
まとめ (5)	8 本時の振り返りをする。 9 楽器の片付け	個人 一斉	・ワークシートに感想を書かせる。 ・教師による気づきを伝える。	

### (3) 本時の評価

- より良いヴァイオリンの音色や奏法を考え、工夫してヴァイオリンを演奏することができたか。